

岩手県金融経済概況（2026年3月）

1. 概 況

県内経済は、一部に弱めの動きもみられるが、持ち直している。

最終需要の動きをみると、公共投資は、持ち直しの動きが一服している。設備投資は、増加している。個人消費は、緩やかに回復している。住宅投資は、弱い動きとなっている。この間、生産は、緩やかに回復している。雇用・所得環境は、緩やかに改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

2. 最終需要

公共投資は、持ち直しの動きが一服している。

先行指標である公共工事請負金額（2026年3月）は、4ヵ月連続で前年を下回った（前年比▲35.3%）。

設備投資は、増加している。

2026年3月短観（岩手県）の設備投資額をみると、2025年度は非製造業が前年度を上回る一方、製造業が前年度を下回っており、全産業では前年度を▲13.6%下回る見込みとなっている。2026年度は製造業と非製造業がともに前年度を上回っており、全産業では前年度を+3.1%上回る計画となっている。

個人消費は、緩やかに回復している。

百貨店売上高（全店舗ベース：2026年2月）は、7ヵ月連続で前年を下回った（前年比▲9.7%）。スーパー売上高（全店舗ベース：2026年2月）は、3ヵ月振りに前年を上回った（同+2.8%）。また、新車登録・届出台数（乗用車＜含む軽＞：2026年3月）は、9ヵ月連続で前年を下回った（同▲3.2%）。

この間、サービス消費は、緩やかに増加している。

住宅投資は、弱い動きとなっている。

新設住宅着工戸数（2026年2月）は、2ヵ月振りに前年を下回った（前年比▲44.9%）。内訳をみると、分譲（同+61.9%）が前年を上回った一方、持家（同▲18.1%）、貸家（同▲84.3%）が前年を下回った。

3. 生産動向

生産は、緩やかに回復している。

鉱工業生産指数（季節調整値：2026年1月）は、2ヵ月振りに前月を上回った（前月比+11.8%）。主な業種の指数をみると、食料品等が低下した一方、電子部品・デバイス等が上昇した。

四半期の動きをみると、2025/10～12月は2期連続で上昇した（2025/4～6月：前期比▲5.7%、7～9月：同+2.7%、10～12月：同+4.6%）。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、緩やかに改善している。

有効求人倍率（季節調整値：2026年2月）は、1.12倍と、前月（1.10倍）から上昇した。

雇用者所得（県内合計値：2026年1月）は、常用雇用指数（前年比▲0.1%）、名目賃金指数（同▲4.9%）が前年を下回ったことから、2ヵ月連続で前年を下回った（同▲5.0%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品：2026年2月）は、引き続き前年を上回った（前年比+1.9%）。

6. 企業倒産

企業倒産（2026年3月）は、4件、負債総額1,900百万円となった（前年同月は7件、負債総額2,609百万円）。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2026年2月）をみると、預金が前年を下回った一方、貸出が前年を上回った。貸出約定平均金利（2026年2月）は上昇している。

以 上

お問い合わせ：
日本銀行盛岡事務所
019-624-3622

<ホームページ>

